

ダルマガエルって？



昔は、みんなの家の周りにもいました。

ナゴヤダルマガエル（以降、ダルマガエル）

体長40～60mmぐらいのカエルです。最近まで「ダルマガエル」と呼ばれていました。ずんぐりした体型で、四肢は短くジャンプが苦手です。背面に黒色の丸い斑紋があり、体色は茶褐色や黄緑色で様々な模様の個体があります。主に湿田や田んぼの横にある溝などで生活しています。産卵期は6～7月頃で、田んぼなどの浅い止水に直径約1.5mmの卵を小さな卵塊に分けて産みます。以前は、県内の多くの地域に多数生息していましたが、最近では生息地が激減しています。豊地区は現在でもダルマガエルが生息している数少ない場所の一つです。

ダルマガエルの生息地について

至：豊小学校



- 岡山市東区西大寺の豊地区には、ダルマガエルの保護を目的とした「生息地」が存在します。
- 同地区にはもともとダルマガエルがたくさん生息していましたが、この地区に新産業ゾーンを建設することになり、同種の希少性に配慮して「生息地」を設けることが決まりました。

ダルマガエルを保護する理由

- ダルマガエルは、地域の自然のバロメーターになっていると考えられます。岡山県版レッドデータブックでも、絶滅危惧種に指定されています。
- ダルマガエルを保護することで、同種が生息できる環境や他の生物の保護にもつながります。
- 保護活動を通じて、地域コミュニティ構築の一助になると期待されます。
- 地元の子供たちが、自然や身近な生き物とふれあうきっかけになることも期待できます。

とよダルマガエルを見守る会

とよダルマガエルを見守る会の趣旨

○豊地区の生息地に生息している絶滅危惧種ダルマガエルが、自力で繁殖するのを応援します。

活動内容

- 行政が行う保護の取り組みや公民館が行う活動に協力しています。
- 定期の学習会、観察会、または西大寺公民館の広報紙を通じて情報発信しています。
- その他、会員が必要と考えた活動を行います。

会員

- 会長 岡崎志賀男
- 顧問 伊藤邦夫（環境省稀少野生動植物種保存推進員）
友延栄一（岡山の自然を守る会） 池上正和（初代会長）
- 地元の方を中心に現在会員数は約30人
- 豊小学校、西大寺公民館も一緒に活動しています

会員の募集

○「とよダルマガエルを見守る会」では、関心のある方のご参加をお待ちしています。

本会の趣旨に賛同していただける方はどなたでも入会できます。

○年に数回、学習会や観察会などの活動を行います。その際には、活動の日程、詳細などを会員の皆様にお知らせします。

入会の方法

○入会を希望される方は、西大寺公民館（電話番号：086-942-6252）にご連絡ください。

○会費は年間、1家族1000円、高校生以下は無料です。（このお金は、通信費などに使われます。）



とよ豊地域は、「岡山市身近な生き物の里事業」に認定されています。